



請願第 1 号

外環自動車側道交通量の予測、環境アセスメント実施

並びに工事着工時期に関する請願

紹介議員の氏名 齋●誠

齋藤 誠

【件名】 外環自動車側道交通量の予測、環境アセスメント実施  
並びに工事着工時期に関する請願

【要旨】 外環自動車道側道部分が和光市版 MaaS にともない二車線化する。当該道路には一般車両も走らせる可能性があることが判明した。その際の交通量の予測を市民に示すとともに、その際の環境に及ぼす影響について調査の上、市民に提示していただきたい。また環境アセスメントの結果が市民に周知徹底されるまでは工事着工を差し控えることを求める。

【理由】 今回和光市版 MaaS では外環自動車道側道の二車線化が計画されている。当該部分は、当初の外環自動車道の整備計画では二車線とされていたが、環境に及ぼす影響を踏まえ、一車線とし市道とされた。実際に歩道部分が広くとられ、植栽も行われ、歩行者も通行しやすい生活道路として定着した。和光市版 MaaS では当該部分を専用レーンとして二車線として整備するという広報が行われてきた。しかし、実際には将来的には専用レーンではなく、一般車両も通行することも検討していることが市議会の質疑、市ホームページで明らかになってきた。

当初の外環自動車道の整備計画では外環自動車道と同じレベル（高さ）で計画されていたので道路の勾配はほとんどなかった。現在の側道は急勾配を上下する道路であり、自動車はエンジンの出力をあげなければ通行できない。特に、その一番高い部分は交差点となっており、発進する際には大量の排気ガスをまき散らす。当初計画でさえ環境保護を目的として1車線化されているのを当初計画よりもはるかに高低差の大きい二車線道路ができた時の環境への影響は大きなものとなる可能性がある。

環境への負荷等を検討せずに二車線化することは将来に禍根を残すことになる。については二車線化した時の交通量の予測ならびに渋滞の予測をすること。そしてその交通量の変化による環境への負荷等について十分なアセスメントをすることを求める。

和光版 MaaS の住民への説明においては専用レーンによる自動運転が強調され、一般車両の通行は市民に周知されたとは言えない。一般車両も通行する2車線化による環境変化について市民への周知徹底がなされ、市民の合意が得られるまでは工事の着工は差し控えることを求める。

令和 4 年 5 月 24 日

和光市議会議員 齊藤 克己 様

紹介議員

氏名

齊藤 誠

㊟

(※紹介議員一人以上の署名（自筆）又は記名押印が必要です。)

請願代表者

住所 和光市

氏名

(ほか署名者 24 名)